

2025年度後期 第6回 リカレント研修会

これって大丈夫？ 歯科衛生士が知っておきたい 口腔粘膜疾患のポイント

広島大学大学院医系科学研究科

公衆口腔保健学

教授 歯科医師 太田 耕司 先生



講演内容

- ✓ 口腔粘膜疾患とは何ですか？
- ✓ 日常臨床に遭遇する口腔粘膜疾患の特徴を目で覚えよう
- ✓ よくある主訴と合わせて舌の病変をみてみよう
- ✓ やってはいけない、見逃さないポイントは？

日時

LIVE配信

3/4 (水) 19:00・20:30

オンデマンド配信

3月13日 (金) ～3月22日 (日)

開催方法

オンライン開催 (Zoom)

LIVE配信日の2日前までに、
ご登録のメールアドレスへ送信します

講演の要約

口腔粘膜疾患とは、口腔粘膜とそれに付随する諸組織を含む軟組織病変のことをいいます。口腔粘膜疾患には局所的な原因によって生じるものから全身疾患の部分症状として生じるものまで多岐にわたります。歯科衛生士は口腔の専門家として歯や歯肉だけでなく口腔粘膜を診ることも重要と考えます。なぜなら口腔粘膜疾患の中には前がん病変として早期に対応しなければならないものも含まれ、みなさんが口腔衛生管理中にみつけることもありますし、見逃してしまっては進行を許してしまうことになってしまいます。今回の講演では、日常臨床で遭遇する口腔粘膜疾患の特徴や他の疾患との鑑別点、疾患を見逃さないポイントなどについて説明したいと思います。みなさんの日常臨床に少しでもお役にたてれば幸いに存じます。